



基本設計概要書

門真市民プラザ等移転に伴う旧門真市立砂子小学校大規模改修工事 基本設計業務

	【目次】
イメージパース	・・・・・・・・ 1
設計コンセプト	・・・・・・・・ 2～3

イメージパース



▲計画配置図



▲北側エントランスイメージ



▲新市民プラザ本館ラウンジイメージ



▲新市民プラザ本館 1 階ホールイメージ



▲図書館イメージ

※画像については、実施設計にて詳細に検討していくため、実際のイメージとは異なります。

基本設計概要書

メインコンセプト 自由を楽しむみんなの学び舎

現門真市民プラザの老朽化及びまちづくりの進展に伴い、旧砂子小学校を活用して、門真市民プラザ・図書館・南部市民センター・地域高齢者交流サロンの貸室等の機能の集約化を図り、新たな市民プラザに再整備します。

子どもから大人まで、市民の誰もが自由に学べる場所を提供し、世代を超えたあらゆるコミュニティが集まる新市民プラザをめざします。

設計コンセプト

目的がなくても気軽に立ち寄りたくなる場所をめざして、**borderless**な新市民プラザを計画します。
ボ ー ダ ー レ ス

学ぶ

地域の滞在型図書館・かども大学など
様々な学び舎



読書

屋内でも屋外でも好きな場所で読書を楽しめるスペース



たまる

緑豊かなランドスケープを形成し、ひとが集まりたあづめる空間



地域に開く

多世代の交流拠点
地域の皆さんが気軽に立ち寄れる開かれた場所



あそぶ

自由な活動ができる多目的な施設



集まる

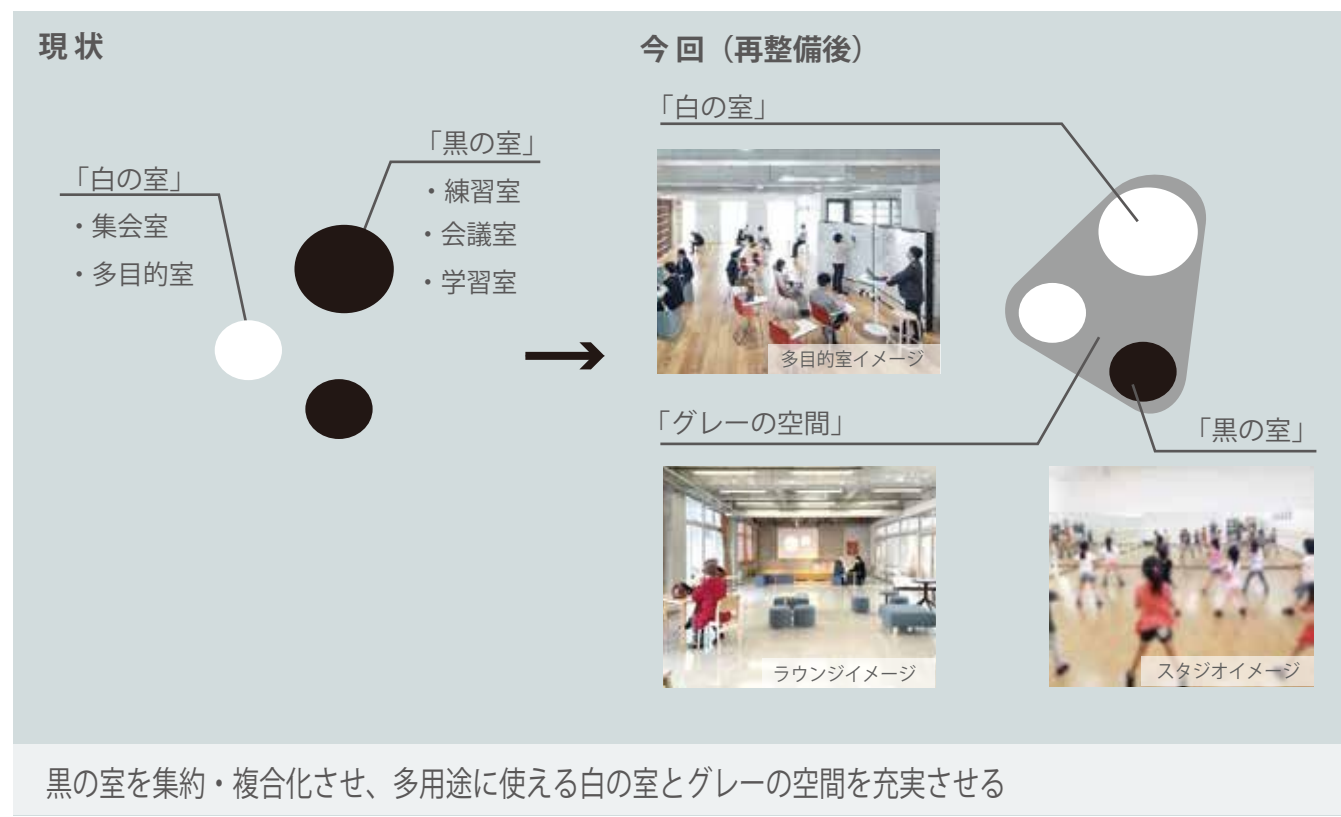
市民の活動の拠点となる貸室や住民票発行などの窓口となる市民サービスコーナー



空間づくりのキーワード

- ・ 現門真市民プラザ等の機能を集約・複合化し、コンパクトで市民が利用しやすい配置計画とします。
- ・ 各室の現状の使い方を **黒の室：特定の使い方** / **白の室：様々な使い方** の2種類に分類し、機能の集約・複合化の手がかりとします。
- ・ 「会議室」は大人が会議をする室、「学習室」は学生が自習をする室というように用途を限定せず、「多目的室」を増やすことで、今日は「集会室」明日は「ヨガ教室」など様々な使い方を可能とし、室の稼働率増加をめざします。
- ・ 黒の室・白の室以外の空間に **グレーの空間：多用途な使い方ができる空間** を設けることでボーダーレスな空間を生み出し、市民による自由な使い方を誘発させます。

ダイアグラム

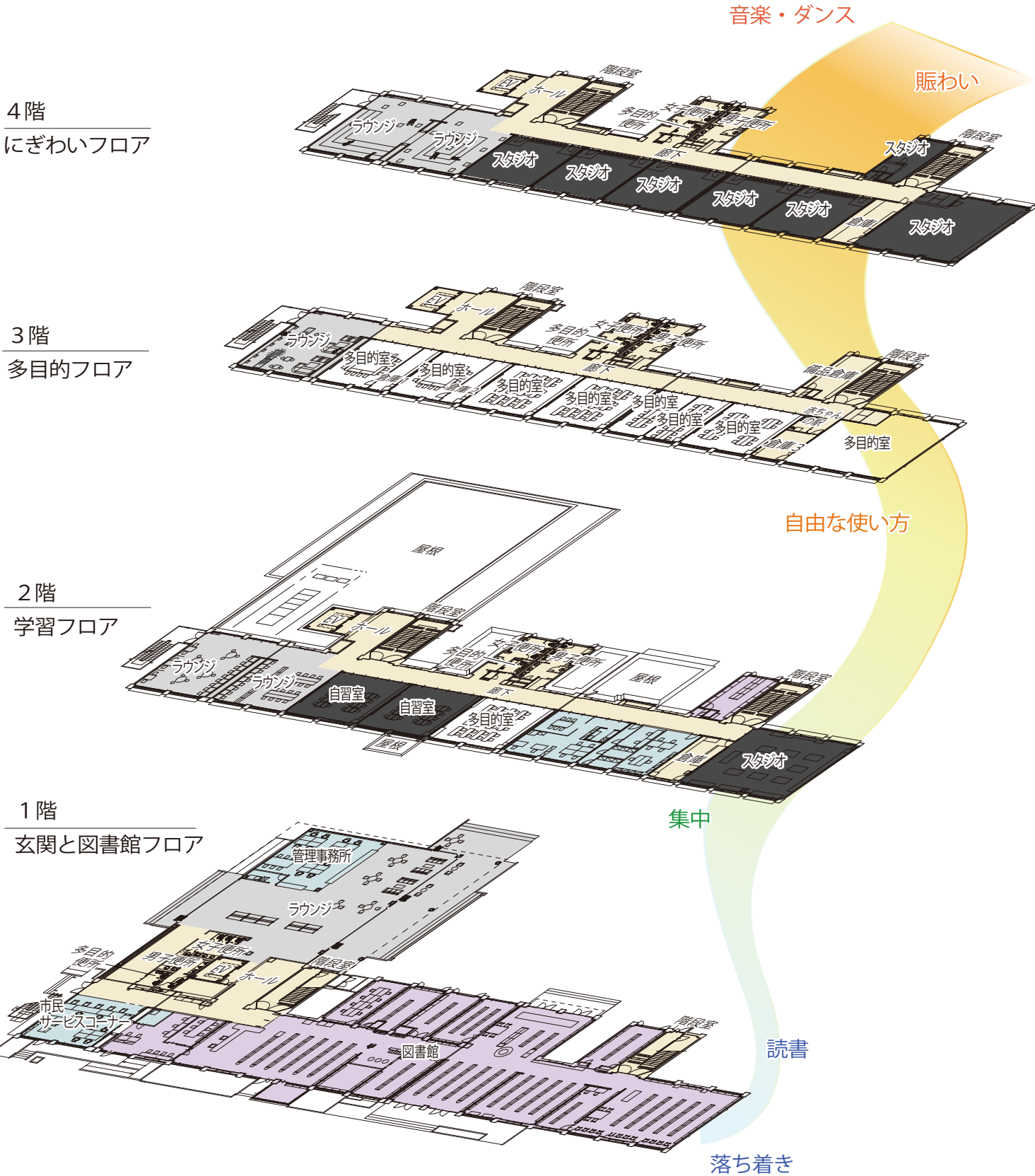


デザイン

既存の素材 × 新しい素材を融合
古さを新しさに魅せる空間づくり



新市民プラザ フロアゾーニング



目的や使い方によって呼称が変化する室や空間を充実させることで、
それぞれの自由な活動が滲み合う新たな市民プラザをめざします。